



平成 28 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 大日本住友製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 多田 正世
(コード:4506、東証第 1 部)
問合せ先 シニアコミュニケーションオフィサー 樋口 敦子
(大阪:TEL. 06-6203-1407)
(東京:TEL. 03-5159-3300)

平成 29 年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 11 日に公表した平成 29 年3月期第2四半期連結累計期間業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 平成 29 年3月期第2四半期連結累計期間業績予想の修正(平成 28 年4月1日～平成 28 年9月 30 日)

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A)	199,000	16,000	16,000	8,000	20 円 14 銭
今 回 修 正 予 想(B)	198,000	26,700	23,800	10,900	27 円 44 銭
増 減 額 (B - A)	△1,000	10,700	7,800	2,900	
増 減 率 (%)	△0.5	66.9	48.8	36.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 28 年3月期第2四半期)	198,926	16,847	17,502	13,214	33 円 26 銭

2. 修正の理由

売上高は堅調に推移していますが、前回発表予想の想定より円高に推移した影響を受け微減となる見込みです。販売費及び一般管理費は、進捗がやや遅れていることと円高の影響により、前回発表予想に対し減少する見込みです。営業外損益は、為替差損の計上により悪化する見込みです。また、特別利益として投資有価証券売却益を、特別損失として本日別途開示しました「早期退職者募集の結果に関するお知らせ」記載のとおり、事業構造改善費用を計上する予定です。

これらのことから、平成 29 年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を、前回発表予想に対し、売上高は 10 億円減の 1,980 億円、営業利益は 107 億円増の 267 億円、経常利益は 78 億円増の 238 億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 29 億円増の 109 億円に修正しました。

なお、通期の業績予想につきましては現在精査中であり、第2四半期決算発表時(平成 28 年 10 月 27 日予定)に公表します。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上